

「1.『これからのコミュニティ施策の基本的考え方』に基づく多摩区における検討」に関すること

意見等の分類	No.	意見の要旨
SDCについて	1	SDCは具体的に何をやるか。どうやって実現するのか。
	2	市民活動支援センターとの違い、市の方針や市・区施設との関係性はどうか。
検討の進め方について	3	市民団体、町内会・自治会等の話を聞く機会を設けるなど信頼関係を築ながら進めるべき。
	4	行政がフォローする部分と検討会で企画する部分の切り分けを明確にすべき。
	5	検討会や設立するSDCが特定の組織に特定の目的で仕切られるのはまずい。
	6	綿密な経営計画なくしてのスタートはあり得ない。運営準備会議を行い決定すべき。
地域包括ケアシステムとの関連	7	「地域包括ケアシステム」の構築を支えることが急務。同じような施策であり、どのように進めるのか。

「2.多摩区を取り巻く状況」に関すること

意見等の分類	NO.	意見の要旨
区の現状・地域特性について	1	緑・多摩川・梨・生田緑地の文化はPRになる。
	2	多摩区の人口動向を考慮することが必要。
	3	若い人、都内に勤務している人、父親等の地域参加の仕組み（現状を知ってもらう）が必要。
	4	障害者についての記載がない（開設理念や機能にも）。

「3.多摩区におけるSDCの開設理念」に関すること

意見等の分類	NO.	意見の要旨
SDCについて	1	SDCの概念、機能を明確化すべき。
	2	人と情報が自然に集まる場、立ち寄れる場、相談し支援が受けられる場になるとよい。
	3	指標、達成目標を意識する必要がある。
	4	地域ごとに中間的なSDC(まちの広場など)があり、交流を図れるような運営も取り入れるべき。
SDCの開設理念について	5	こどもの幸せを第一に考えることが必要。
	6	社会問題解決モデルCityでイメージUPを図る。
	7	「地域包括ケアシステム」のポイントである「自助」「共助」の必要性など加えてほしい。

「4.SDCの基本的機能と具体的な取組について」に関すること

意見等の分類	NO.	意見の要旨
SDCの機能等全般について	1	活動と改善効果のみえる化が欲しい（効果、金額等）。
	2	住みやすい地域づくりのためには、地域活動テーマと行政施策の連動が必要。

(1) 多摩区を中心に活動しようとする土壌を創る

意見等の分類	NO.	意見の要旨
機能について	1	同じ関心分野、志を持つ人をつなぐ（つなげる）人が重要。
取組のアイデアについて	2	・町内会・自治会を通じた地域の人材探し ・退職者の集まるサロン ・子どもミーティング ・子育て中のママのスキルを収集・活用するためのお茶会やランチ ・経験を隠さない人材リスト ・プロボノワーカーの人材バンク

(2) 多摩区内で活動する人に必要なものを準備してマッチングする

意見等の分類	NO.	意見の要旨
機能について	1	マッチングに際しては、公平性と透明性が重要。
	2	様々な活動を進める為の資金をどのように集めるかが大事。
	3	ヒト、モノ、カネの他に「場（場所）」が必要である。
	4	個人や団体が持っている特性を知る仕組みは有効、必要（ポータルサイト、人材バンク、リスト作成）
	5	マッチングの長期的マネジメントには、入れ替わるスタッフの「暗黙知」ではなく、ICTツールの運用が必要。
取組のアイデアについて	6	・育児期女性のジョブマッチング ・シニアが子育て世代を助ける活動 ・団体の活動発表や交流会 ・経験を自慢する機会の創出 ・障害者事業所への技術提供や地域コースとのマッチング ・食品廃棄物のリサイクル

(3) 地域課題の解決を目指した社会実験の展開

意見等の分類	NO.	意見の要旨
機能について	1	市民活動団体による地域課題解決の提案を支援する仕組みを作ってほしい。
	2	きちんと専門家につなげられる困りごとのワンストップ相談窓口は必要。
	3	小中学校の子どもたちから地域の勉強をさせるべき。
取組のアイデアについて	4	・まち全体を歩行者天国にした遊びや交流会 ・坂道にスポットを当てた名所化 ・子どもが中心となる防災イベント ・空家を活用できる制度づくり

(4) 地域課題への専門的支援

意見等の分類	NO.	意見の要旨
機能について	1	企業・大学ともしっかり積極的にコラボし、つながるとよい。
	2	活動地域とSDC拠点が離れていても、サービスを楽しむようにすべき。
	3	市民団体の資金問題、助成金案内、申請事務の手助けに対応できるとよい。
具体的な取組について	4	・医療方面の相談窓口の充実 ・認知症の相談窓口設置

(5) 地域で人を育てる仕組みをつくる

意見等の分類	NO.	意見の要旨
機能について	1	人材育成の場が少ない。学生を含め若い人の人材育成や、楽しく活動できる場が必要。
	2	新たに取り組む事業を区民へ発信する機能や紹介する機能が必要。
	3	年齢やライフステージに応じた人材養成塾は再就職できずにいる人の手助けにもなる。
具体的な取組について	4	・専門家によるメンターシステム ・農業体験 ・ボランティア等のマッチング

(6) 「まちのひろば」への支援

意見等の分類	NO.	意見の要旨
機能について	1	交流の場所はあるが有効に活用されていない。地域の状況に合わせたまちのひろばが必要。
	2	不動産屋の情報提供と発信があるとよい。
	3	地域に住んでいる様々な職種の人と意見を交換する場がほしい。
	4	生活支援分野を担うまちのひろばが必要。
望まれる「まちのひろば」のアイデア	5	・ネットワーク環境が整備されたコワーキングスペース、サテライトオフィス・ケアカフェ ・手軽に料理ができる場 ・「まちのひろば」を拠点とした介護予防活動

(7) みんなに届く情報発信

意見等の分類	NO.	意見の要旨
機能について	1	広報の支援をしてほしい。SDCに使いやすいチラシギャラリー的な機能があるとよい。
	2	イベント情報や各地区の活動情報の集中的管理と発信（まつりのマップづくりなど）。
	3	多摩区に特化した情報ポータルサイトを構築・運営するとよい。
具体的な取組について	4	・区役所でのプロジェクションマッピング

(8) 多摩区内の人と人をつなぐ

意見等の分類	NO.	意見の要旨
機能について	1	世代間交流の場づくり、交流企画イベント、活動発表の場が必要。
	2	商店街の活用、商店とのコミュニケーションがあるとよい。
具体的な取組について	3	・アートと他分野(福祉等)のコラボ ・資本配達、読み聞かせ派遣 ・たき火ができると人が集える

(9) 多摩区の地域特性を活かした取組

意見等の分類	NO.	意見の要旨
機能について	1	資源の洗い出し、地域のブランディングが必要。
具体的な取組について	2	・生田緑地の活用(遊園跡地での遊び場運営、駅までの人力車・馬車運行、アートイベント) ・多摩川の活用(遊びながらきれいに、登戸の渡しの活用) ・有名キャラクターとのコラボ ・区おもてなし隊結成 ・明大登戸研究所資料館との連携 ・マルシェ等による農産物販売

「5.開設場所」に関すること

意見等の分類	NO.	意見の要旨
場所に関する意見	1	駅に近い、人の動線、人のあつまる場所がよい。
	2	将来的にはより広い場所、オープンな形がよい。休憩できる場所が欲しい。
	3	事務所は1つでも複数の活動の場やサテライトがあってもよい。固定でなく毎回違ってよい。
	4	コワーキングスペースと学童保育が合体した設備等であれば子どもと大人の接点を持つことが可能。
具体的な場所のアイデア	5	・遊休施設 ・市住宅公社の空室 ・商店街の中 ・将来的には生田浄水場跡地も

「6.運営についての考え方」に関すること

意見等の分類	NO.	意見の要旨
運営組織について	1	運営主体は企業からの寄付金や会員管理も考慮し、法人格で運営する方がよい。
	2	まずは「柔軟さ」を第一に考える必要がある。
	3	SDCの活動に特化した組織が望まれる。NPOであれば事業活動及び決算状況把握が可能となる。
	4	自立した団体の設立を目指すのであれば、1つの団体にてすべての機能を実現するのは困難。
	5	起業アイデア等のコンペを開き、優秀な企画書を作った人に団体立ち上げを担って貰うことが考えられる。
	6	退職者や若者、子育て・シニア世代、ハンディキャップのある方など幅広い方で運営するとよい。
	7	一部に偏らないように運営はコンソーシアムがよい。
運営方法について	8	SDCに関わるスタッフなどが少しずつでも収入を得られる事業展開が必要。
	9	起業経験やビジネスセンスのある人材が、理事として自らの責任において事業計画を立案することが必要。
	10	きっちりとした経営計画、時間軸を入れた事業運営が必要。
	11	定期的に区民からチェックや評価を受ける仕組みを作してほしい。
	12	いつ止めるか、サンセット方式で区切りをつくっておくことが必要。
	13	コミュニティーソーシャルワーカーの制度を活用してほしい。
運営資金のアイデア	14	・フリーペーパーの広告収入 ・休眠預金の活用 ・地域通貨の活用 ・賛助会員募集

「7.今後の検討の進め方」に関すること

意見等の分類	NO.	意見の要旨
今後の進め方について	1	「区民が自主的につくっていく」という視点が大切。多くの区民が関われるように進めるべきである。
	2	「ありがたい姿」を多くの人が共有し、それを実現するための道筋を描くことが必要。
	3	既にある取組や成果の上にデザインしていく発想が必要。
	4	SDCの考え方や基本方針の理解を広げることが重要。
	5	区のサポートは中長期的に必要な不可欠である。
	6	組織がどうあるべきかは求められる機能による。必要な運営スタッフの能力や誰にやらせるかはその後。